



## 課題②

\* 高低差が10m以上ありますが、南斜面になるため環境的にはいい条件です。

\* 左上の図面で道路形状の線が入っていますが、これは南北が吹田市道、東西が大  
阪府道の都市計画道路が計画されています。

いつか分かりませんが、将来は幅員が18mと22mの道路に接道する場所だとい  
うことです。

\* 斜面を利用したの開発は結構いい街並設計ができます。

いわゆる「坂のある街並み」です。

戸建住宅部分の道路の一番高い箇所が標高で66.4m、直線で下り低い箇所が標  
高63.0mで高低差が3.4m、道路の延長が60mですから勾配が5.6%、角度で  
3.2度くらいになります。

\* マンション設計は、少々高低差があってもそんなに難しくありません。

高低差（斜面地）をうまく利用して、平均地盤面を設定できますから、今回の開  
発地のように、地形が悪く高さ制限がある地域、又は容積率が稼げないときなど  
は逆に利用価値があります。

\* 現況の地形はきれいな斜面地ではなく、かなり凸凹がで且つ池も数箇所あります  
から、きれいな斜面地に造成する必要があります。左の図面は、地盤の断面図の  
一部ですが、黄色部分が切土、赤部分が盛土です。一番上の赤部分盛土は擁壁で  
止まります。

\* 開発区域内で土砂の処理をうまく行っても概算で土が5000 m<sup>3</sup>程あまる計算にな  
ります。10 t ダンプカーで最大6 m<sup>3</sup>積載できますが、約840台分の土を搬出しな  
ければなりません。